

【会報】

日本熱測定学会第36回通常総会

日時：2009年9月29日（火）16:55～17:50

会場：首都大学東京（第45回熱測定討論会A会場）

総会の成立：出席者75名および委任状88通（計163）により定足数157（正会員628名の4分の1）を越えており、会則第18条により総会は成立した。

1. 第35回通常総会議事録の承認

2. 2009年度事業報告（2008.10.1～2009.9.20）

(1) 会員状況

	2008.10.1	入会者	退会者	2009.9.30
名誉会員	11	2	0	13
正会員	672	32	76	628
学生会員	58	20	20	58
維持会員	38(64)	2(2)	3(3)	37(63)

() 内は維持会員口数

(2) 集会関係

- 1) 委員会 1回（つくば 1回）、幹事会 4回（つくば 1回、東京 3回）、庶務幹事会 4回（つくば 1回、東京 3回）、会計幹事会 1回（東京 1回）、編集委員会 5回（つくば 1回、東京 4回）、企画幹事会 2回（東京 1回、大阪 1回）、広報委員会 1回（つくば 1回）、学会賞等選考委員会 2回（東京 2回）
- 2) 第44回熱測定討論会（2008. 10. 16～18、エポカルつくば）発表件数 口頭発表 89件、ポスター発表 63件、特別講演 3件、受賞講演 4件、参加者 271名、「紫峰賞」2件
- 3) 第9回若手の会（2008. 10. 16、つくば）参加者65名
- 4) 第7回シニアの会（2008. 10. 16、つくば）参加者12名
- 5) 第35回通常総会（2008. 10. 17、つくば）熱測定 Vol.36, No.1（2009）p.55 参照
- 6) 第45回熱測定討論会実行委員会（つくば1回、八王子 1回）
- 7) 第44回熱測定ワークショップ「無機材料における熱測定・熱分析」（2008. 11. 30、横浜）参加者36名
- 8) 第45回熱測定ワークショップ「緩和法による熱測定の現状と展望」（2009. 7. 24、大阪）参加者41名
- 9) 第62回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用—熱分析の基礎と高分子・無機材料・医薬品への応用—」（2009. 3. 4～5、東京）参加者26名
- 10) 第63回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用—熱分析の基礎と高分子・医薬品・食品・蛋白質への応用—」（2009. 9.14～15、大阪）参加者 26名

- 11) 応用熱測定講習会「身近に生きる熱測定—医薬品・食品・化粧品と熱測定—」（2009.8. 27～28、東京）参加者9名
- 12) 第4回熱分析基礎講座「DSCとTG-DTAの講義と演習—信頼性の高い測定のために—」（2009.6.30、東京）参加者10名
- 13) ICCT-2010組織委員会（つくば 1回）

(3) 共催・協賛・後援関係

- 共催：第29回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会，2008.10.8～10，東京）
- 協賛：第22回日本吸着学会研究発表会（主催：日本吸着学会，2008.10.24～25，福岡）
- 協賛：第15回界面シンポジウム（主催：日本学術会議材料工学委員会ほか，2008.10.29，東京）
- 協賛：第49回高圧討論会（主催：日本高圧力学会，2008.11.12～14，姫路）
- 協賛：第51回自動制御連合講演会（主催：計測自動制御学会（幹事学会）ほか，2008.11.22～23，山形）
- 共催：The Fourth International Symposium on the New Frontiers of Thermal Studies of Materials（主催：The Fourth International Symposium on the New Frontiers of Thermal Studies of Materials組織委員会，2008.11.30～12.2，横浜）
- 協賛：第35回炭素材料学会年会（主催：炭素材料学会，2008.12.3～6，つくば）
- 協賛：IUMRS-ICA2008（主催：日本MRS，2008.12.9～13，名古屋）
- 後援：平成20年度教育講座（主催：神奈川科学技術アカデミー，2009.2.27，川崎）
- 共催：2009年度第1回TMS研究会講演会（主催：TMS研究会，2009.4.24，横浜）
- 協賛：第57回質量分析総合討論会（主催：日本質量分析学会，2009.5.13～15，大阪）
- 協賛：食品ハイドロコロイドセミナー2009（主催：食品ハイドロコロイド研究会，2009.5.18，東京）
- 協賛：第20回食品ハイドロコロイドシンポジウム（主催：食品ハイドロコロイド研究会，2009.5.19，東京）
- 協賛：エレクトロニクス実装における熱と信頼性（主催：神奈川科学技術アカデミー，2009.5.19～6.11，川崎）
- 共催：第46回日本伝熱シンポジウム（主催：日本伝熱学会，2009.6.2～4，京都）
- 協賛：高圧力科学と技術に関する国際会議（主催：高圧力科学と技術に関する国際会議組織委員会ほか，2009.7.26～31，東京）

共催：2009年度第2回TMS研究会講演会（主催：TMS研究会，2009.7.31，福井）

(4) 出版関係

会誌「熱測定」の編集・発行（Vol.35, No.5～Vol.36, No.4, 計 366頁，各1,000部）

内容：巻頭言 5，論文1，ノート2，特集「身近に生きる熱測定」（解説 5），解説 21（2008年度奨励賞受賞解説 4を含む），フロギストン 59，レポート 11，会員のページ 4，談話室1，会報，その他

(5) 広報関係

・学会ホームページの修正

内容：学会ホームページ内のバグの修正

・学会ホームページの更新

内容：学会の年間活動の案内，熱測定誌の目次とアブストラクト，学会カレンダー

・関連学協会へのリンク，各種リスト等の更新

(6) グループ活動

1) 熱測定応用研究グループ（主査：小川英生）

・定期会合1回

・第62回および第63回熱測定講習会において意見交換および打ち合わせを行った。

・「熱測定」へグループメンバーによるノート投稿が2件あり掲載された。

2) 標準化作業グループ（主査：古賀信吉）

・定期会合1回（2008.10.16）

・第4回熱分析基礎講座：DSCとTG-DTAの講義と演習—信頼性の高い測定のために—（2009.6.30，産総研秋葉原サイト，参加者11名）

・国際協力の可能性についての検討

3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ（主査：長野八久）

・化学史学会で標準状態圧力問題の発表を行なった。

・メンバー（山口会員）を補充した。

(7) 国際協力

1) IUPAC：徂徠道夫（阪大名誉教授）Member of the Advisory Subcommittee (Division I)

2) IACT：阿竹 徹（東工大名誉教授）Member of Board of Directors

3) ICTAC：小棹理子（湘北短大）Executive Councilor (Membership Secretary)，木村 隆良（近畿大）Affiliate Councilor

4) CALCON：齋藤一弥（筑波大院数理物質）Director，稲葉 章（阪大院理）Counselor

(8) 2009年度学会賞等選考報告

学会賞

・該当者なし

奨励賞

・川上 亘作（物質・材料研究機構）「熱測定を利用した医薬品化合物の結晶／非晶質物理状態評価」

3. 2009 年度収支決算 (2008.10.1~2009.9.20) [単位:円]

	予 算	決 算
収 入	10,843,665	10,687,581
(1) 会費収入	5,486,000	5,789,000
正会員	4,032,000	4,272,000
学生会員	174,000	177,000
維持会員	1,280,000	1,340,000
(2) 事業収入	4,370,000	3,965,711
会誌発行収入	2,350,000	2,687,139
広告料	2,000,000	1,930,950
別刷代金	100,000	548,289
購読料	250,000	207,900
第44回討論会収入	0	161,321
講習会収入	1,500,000	671,351
出版印税	120,000	93,100
名簿発行収入	400,000	352,800
(3) 雑収入	110,000	55,205
(4) 繰越金	877,665	877,665
支 出	10,843,665	10,655,891
(1) 事業費	5,892,000	6,178,518
会誌発行費	4,700,000	5,093,039
編集費		2,438,730
印刷費		1,868,466
別刷印刷費		365,161
発送費		420,682
研究G・WG	30,000	8,400
WS・講演会	100,000	66,580
第45回討論会準備金	200,000	200,000
第9回若手の会	50,000	50,000
第7回シニアの会	50,000	4,307
英文プログラム	50,000	50,000
学会賞等経費	150,000	160,700
国際協力費	12,000	12,000
名簿発行費	550,000	533,492
(2) 管理費	4,478,000	4,381,373
会議費	250,000	233,616
交通費	1,250,000	1,285,000
事務局費	2,268,000	2,268,000
HP管理費	60,000	60,000
通信費	250,000	225,655
消耗品費	200,000	206,551
会長選挙管理費	50,000	23,660
雑費	150,000	78,891
(3) 予備費	473,665	96,000
次期繰越金	0	31,690
当期収支差額	-877,665	-845,975

2009 年度特別会計

熱測定特別基金	6,038,661
利息	16,415
ICCT-2010 準備金	-2,000,000
振込手数料	-420
合計	4,054,656

4. 名誉会員の推戴

中村 茂夫会員
三井 清人会員

5. 奨励賞授与式

川上 亘作会員 (物質・材料研究機構)

6. 2010・2011 年度会長選挙報告

7. 2010 年度役員 (2009.9.21~2010.9.20)

○印 新任, □印 再任

会 長

○吉田 博久 (首都大都市環境科学)

委 員

○安藝 初美 (福岡大薬)

池内 賢朗 (アルバック理工)

石子 貴与晃 (ブルカー・エイエックスエス)

市村 裕 (エスアイアイ・ナノテクノロジー)

岩橋 祐輔 (日本サーマル・コンサルティング)

太田 充 (島津製作所)

○大塚 康城 (TA インストゥルメント)

大場 正春 (名城大農)

河江 達也 (九大院工)

川上 亘作 (物質・材料研究機構)

佐藤 博 (東京理工)

○清水 由隆 (産総研)

高井 茂臣 (鳥取大工)

○橋 信 (物質・材料研究機構)

田中 晶善 (三重大生物資源)

辻井 哲也 (ノーキンエルマー・ジャパン)

土屋 雅大 (防衛大応用科学)

○長野 八久 (阪大院理)

○中山 将伸 (名工大院工)

祢宜田 啓史 (福岡大理)

平山 泰生 (リガク)

○福原 幸一 (広大院理)

○松木 均 (徳島大院ソシオテクノサイエンス)

○松本 里香 (東京工芸大工)

三木 久美子 (日大生産工)

守屋 映祐 (東京大院工)

○八尾 晴彦 (京都工織大院工芸科学)

○山室 修 (東大物性研)

山室 憲子 (東京電機大理工)

○吉場 一真 (群馬大院工)

会計監査

○橋本寿正（東工大院理工）

幹事

- 飯島 美夏（会計，長崎大教育）
 ○一柳 優子（会計，横浜国大院工）
 ○小川 英生（編集，東京電機大理工）
 ○織田 昌幸（企画，京都府大院生命環境科学）
 神山 匡（企画，近畿大理工）
 □猿山 靖夫（編集，京都工織大院工芸科学）
 武田 清（庶務，鳴門教育大自然）
 ○筑紫 格（企画，千葉工大教育センター）
 ○西本 右子（庶務，神奈川大理）
 藤森 裕基（企画，日大文理）
 山村 泰久（広報，筑波大院数理物質）

2010年度編集委員会

編集委員

- 猿山 靖夫（京都工織大院工芸科学）「高分子」，幹事
 小川 英生（編集，東京電機大理工）「溶液」，幹事
 内山 進（阪大院工）「生物熱力学」
 ○川上 亘作（物質・材料研究機構）「医薬品」
 ○中別府 修（明治大理工）「マイクロ伝熱/金属合金/微生物」
 ○橋本 拓也（日大文理）「セラミックス」
 宮崎 裕司（阪大院理）「物性化学」

拡大編集委員

- 神崎 亮（九大院理）「溶液錯体」
 清野 肇（北大院工）「無機材料」
 古賀 信吉（広島大教育）「無機」
 橘 信（物質材料研究機構）「固体物性」
 松本 里香（東京工芸大工）「無機」
 ○三木 久美子（日大生産工）「タンパク質」

2010年度広報委員会

- 山村 泰久（筑波大院数理物質）幹事
 川路 均（東工大応セラ研）
 □清水 由隆（産総研）
 □中澤 康浩（阪大院理）
 □林 英子（千葉大教育）
 ○藤森 厚裕（山形大工）

8. 2010年度事業計画（2009.9.21～2010.9.20）

(1) 集会関係

- 1) 委員会 1回（八王子 1回），幹事会 4回（八王子1回，東京 3回），庶務幹事会 4回（八王子1回，東京 3回），編集委員会 5回（八王子1回，東京 4回），会計幹事会 1回（東京 1回），企画幹事会 2回（東京 1回，大阪 1回），広報委員会 1回（八王子1回），学会賞等選考委員会 2回（東京 2回）
- 2) 第45回熱測定討論会（2009.9.28～30，八王子）
- 3) 第10回若手の会（2009.9.28，八王子）
- 4) 第8回シニアの会（2009.9.28，八王子）
- 5) 第36回通常総会（2009.9.29，八王子）
- 6) 第46回熱測定討論会実行委員会（津5回）
- 7) 第64回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（東京）
- 8) 第65回熱測定講習会「初心者のための熱分析の基礎と応用」（大阪）
- 9) 第5回熱分析基礎講座
- 10) 15th ICTAC準備委員会（2009.9.29，八王子）
- 11) ICCT-2010組織委員会（2009.9.30，八王子）
- 12) ICCT-2010（2010.8.1～6，つくば）
- 13) ワークショップ テーマ・オーガナイザーを募集
- 14) 講演会 テーマ・オーガナイザーを募集

(2) 共催・協賛関係

- 共催：第30回日本熱物性シンポジウム（主催：日本熱物性学会，2009.10.28～30，米沢）
 協賛：第52回自動制御連合講演会（主催：システム制御情報学会ほか，2009.11.21～22，大阪）
 協賛：第23回日本吸着学会研究発表会（主催：日本吸着学会，2009.11.27～28，豊橋）
 協賛：第36回炭素材料学会年会（主催：炭素材料学会，2009.12.1～3，仙台）
 協賛：第10回国際吸着会議（主催：日本吸着学会，2010.5.23～28，淡路）

(3) 出版関係

- ・ 会誌「熱測定」の編集・発行（Vol.36, No.5～Vol.37, No.4, 各1,000部）
- ・ 「熱量測定・熱分析ハンドブック」改訂版の編集・発行

(4) 広報関係

- 学会ホームページの維持・管理
 内容：学会ホームページ内のバグの修正，学会の年間活動の案内・熱測定誌の目次とアブストラクト・各種

リスト等の更新

(5) グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ (主査: 小川英生)
 - ・ 定期会合1回
 - ・ 熱測定ワークショップを企画・開催する。
 - ・ 年2回の熱測定講習会において意見交換および打ち合わせを行う。
 - ・ 「熱測定応用研究のページ」へ投稿を呼びかける。
- 2) 標準化作業グループ (主査: 古賀信吉)
 - ・ 定期会合1回 (2009.9.28)
 - ・ 熱分析基礎講座 (検討中)
 - ・ 新たな標準化作業の企画検討
 - ・ 成果報告の検討と作業
 - ・ その他
- 3) 標準状態圧力適正化ワーキンググループ (主査: 長野八久)
 - ・ 定期会合1回
 - ・ ICCT-2010で啓蒙活動をする。
 - ・ メンバーがそれぞれの国内外のつながりを生かして、適正化を働きかける。

(6) 国際協力

- 1) IUPAC: 徂徠道夫 (阪大名誉教授) Member of the Advisory Subcommittee (Division I)
- 2) IACT: 阿竹 徹 (東工大名誉教授) Member of Board of Directors
- 3) ICTAC: 小棹理子 (湘北短大) Executive Councilor (Membership Secretary), 木村隆良 (近畿大) Affiliate Councilor
- 4) CALCON: 齋藤一弥 (筑波大院数理物質) Director, 稲葉 章 (阪大院理) Counselor

9. ICCT-2010 準備金の特別会計からの支出について
ICCT-2010の準備金として、今年度、特別会計から300万円を限度として支出する。

特別基金運用細則

第1条 (基金の目的)

この基金は、本会が目的達成のために実施する事業のうち、会則第4条3項に関し、本学会が主催団体として日本国内で開催する国際会議で特別に補助が必要である場合に、事業の責任者に対して支出するためのものである。

第2条 (支出の決定)

第1条に関して支出の可否、及びその金額は総会が決定する。

第3条

第2条に基づき補助を受けた場合は、事業責任者は事業終了後速やかに幹事会に活動報告 (会計報告を含む) をしなければならない。

第4条

第1条以外で、本学会の運営上特別に本基金からの補助が必要な場合は、その可否及び金額を幹事会で決定し、総会で承認を受ける。

10. 2010 年度収支予算 (2009.9.21 ~ 2010.9.20)

[単位：円]

収入	9,103,690
(1) 会費収入	5,202,000
正会員	3,768,000
学生会員	174,000
維持会員	1,260,000
(2) 事業収入	3,820,000
会誌発行収入	2,300,000
広告料	2,000,000
別刷代金	100,000
購読料	200,000
第45 回討論会収入	200,000
講習会収入	1,200,000
出版印税	120,000
(3) 雑収入	50,000
(4) 繰越金	31,690

支出	9,013,690
(1) 事業費	4,592,000
会誌発行費	4,000,000
研究G・WG	30,000
WS・講演会	100,000
第46 回討論会準備金	200,000
第10 回若手の会	50,000
第8 回シニアの会	50,000
英文プログラム	50,000
学会賞等経費	100,000
国際協力費	12,000
(2) 管理費	4,428,000
会議費	250,000
交通費	1,250,000
事務局費	2,268,000
HP 管理費	60,000
通信費	250,000
消耗品費	200,000
雑費	150,000
(3) 予備費	83,690
次期繰越金	0
当期収支差額	-31,690

2010 年度特別会計	[単位：円]
熱測定特別基金	4,054,656
ICCT-2010 準備金	-3,000,000
合計	1,054,656

11. その他

・第46 回熱測定討論会

三重大で2010年9月27日から29日の会期で開催される。会場へのアクセスなどの説明が田中実行委員長からなされた。

・第47 回熱測定開催地

吉田新会長より群馬大の花屋実会員のお世話で桐生市で開催されることが説明された。

・2010 年度学会賞等の募集と締め切り

吉田会長から4月30日が締め切りであることが説明された。

・ICCT-2010 準備状況

吉田会長から説明があり、2009 年末までに発表申込みを開始する予定で進められていることが紹介された。

・15th ICTAC 準備状況

木村実行委員長から2012 年に大阪で開催されるとの説明がなされた。

議事終了後、吉田新会長から稲葉会長の方針「国際化と若手の育成」をさらに進めるとの挨拶と、会員増強に協力要請がなされた。